

地域アンケート結果（藤山台中学校区）

少子化により子どもの数が減少する中、市では、子どもたちにとってより良い教育環境を整備するため、通学区域の変更や学校の統合などにより、小中学校の適正な規模の確保に努めるように検討を進めています。

検討にあたり地域の方を対象にアンケートを実施しましたので、集計結果をご報告します。



◆アンケート概要

実施期間	令和7年6月26日（木）から7月13日（日）まで
対象者	藤山台中学校区（藤山台小学校区）の住民
実施方法	インターネットアンケート
回答数	46人

1	お住まいの小学校区を選択してください。
2	あなたの年齢を選択してください。
3	あなたは、小中学校の児童生徒の保護者、未就学児の保護者を対象に実施したアンケートにご協力いただきましたか。

学校区	回答数	回答数の年代別内訳							保護者アンケート 回答の有無
		20歳以下	21～30歳	31～40歳	41～50歳	51～60歳	61～70歳	71歳以上	
藤山台小	46人	1人	0人	10人	9人	9人	9人	8人	はい：10人 いいえ：36人

地域の子どもたちが学校生活を送るにあたって重要と思うことについて、次の項目から選択してください。(3つまで)

●回答結果の概要

「② 子どもたちの通学の距離や方法」、「① 多くの子どもたちがいて人間関係に広がりがあること」、「⑤ 子どもたち一人ひとりの状況に応じたきめ細かな教育」の順で選ばれています。

回答した方の多くが、通学の距離や方法、子どもの人間関係の広がりを重要と考えています。



「⑨ その他」の回答

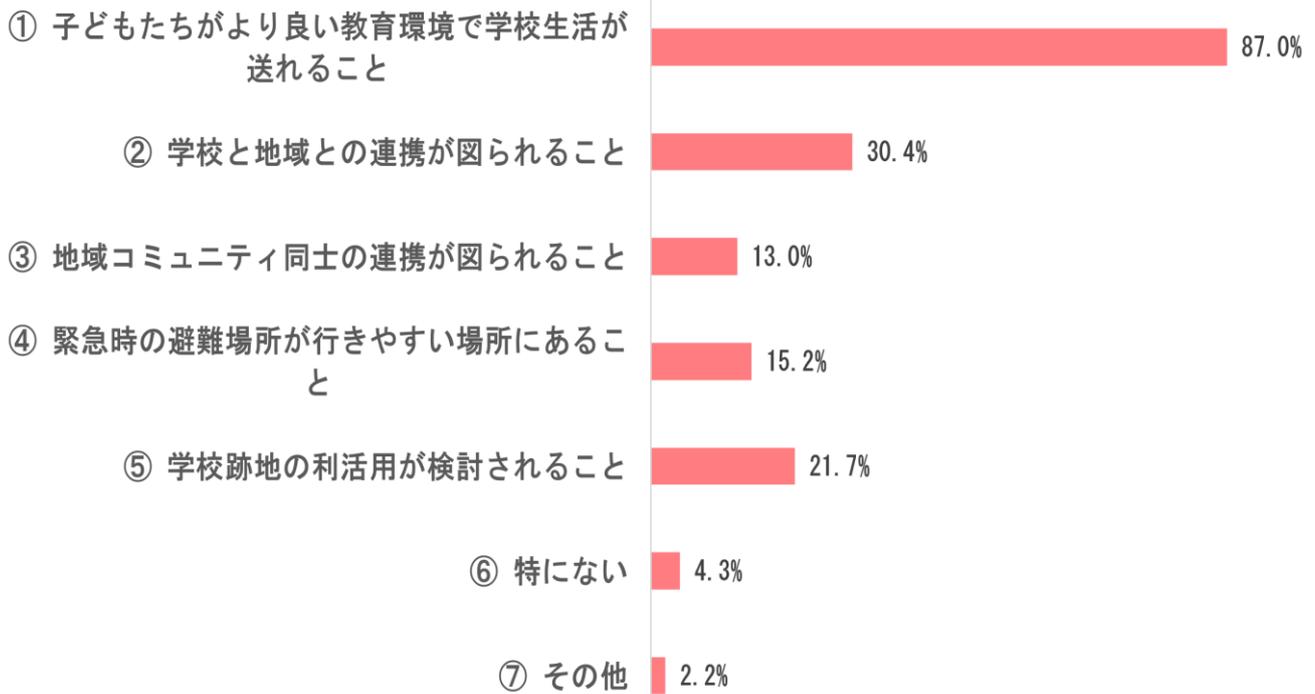
◆藤山台小

- ・いじめをなくすことが、重要です。そのためにはどうしたらいいか考えなくてはなりません。
- ・一人一人の子どもの個性を認め、子どもも教員も生き生きとした教育活動の場であること。

学校の規模や配置を見直す場合、地域の方にとって、重要と思うことを次の項目から選択してください。(2つまで)

●回答結果の概要

「① 子どもたちがより良い教育環境で学校生活を送れること」が最も多く選ばれています。学校の規模や配置を見直す場合、非常に多くの方が子どもたちの教育環境の向上を重要と考えています。



「⑦ その他」の回答

◆藤山台小

・子どもにとっての一番身近な人的環境である教師が専門性、教育愛豊かな人であること。

市は小中学校ともに1学年に2学級以上あることが必要と考えています。この考えに基づき、市内の小中学校が適正な規模や配置となるように取り組むことについて、どう思いますか。(1つ)

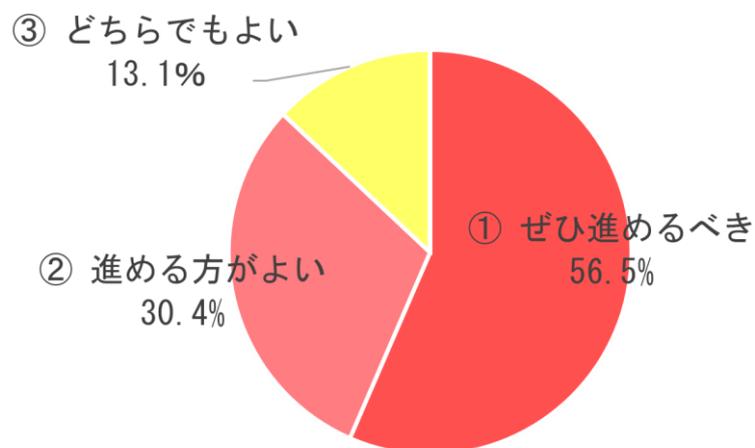
●回答結果の概要

86.9%の方が「① ぜひ進めるべき」又は「② 進める方がよい」と考えています。

「④ 進めないほうがよい」又は「⑤ 進めるべきではない」を選んだ方はいません。

①又は②と回答した方の割合は、対象の12校の中で、藤山台小(86.9%)は2番目に高くなっています。

◆藤山台小学校



7
1

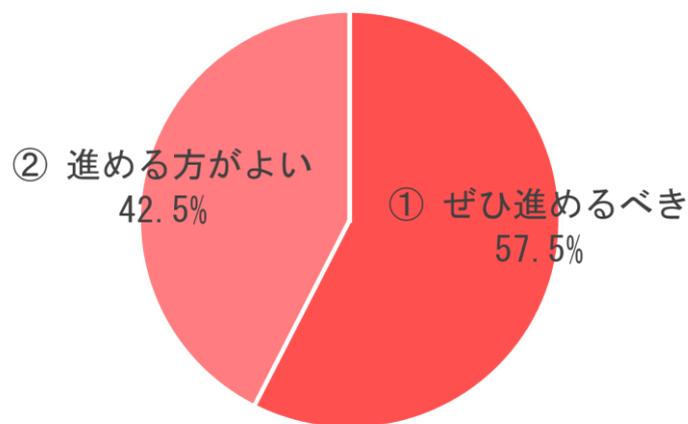
6の質問で「① ぜひ進めるべき」と「② 進める方がよい」と答えた方にお聞きします。お住まいの地域の小中学校が適正な規模や配置となるように取り組むことについてどう思いますか。(1つ)

●回答結果の概要

6の質問で①又は②を選んだ全ての方が、「お住まいの地域の小中学校が適正な規模や配置となるように取り組むこと」に賛成しています。

「③ どちらでもよい」、「④ 進めない方がよい」、「⑤ 進めるべきではない」を選んだ方はいません。

◆藤山台小学校



7
2

6の質問で「④ 進めない方がよい」と「⑤ 進めるべきではない」と答えた方にお聞きします。その理由として最も当てはまるものを選択してください。(1つ)

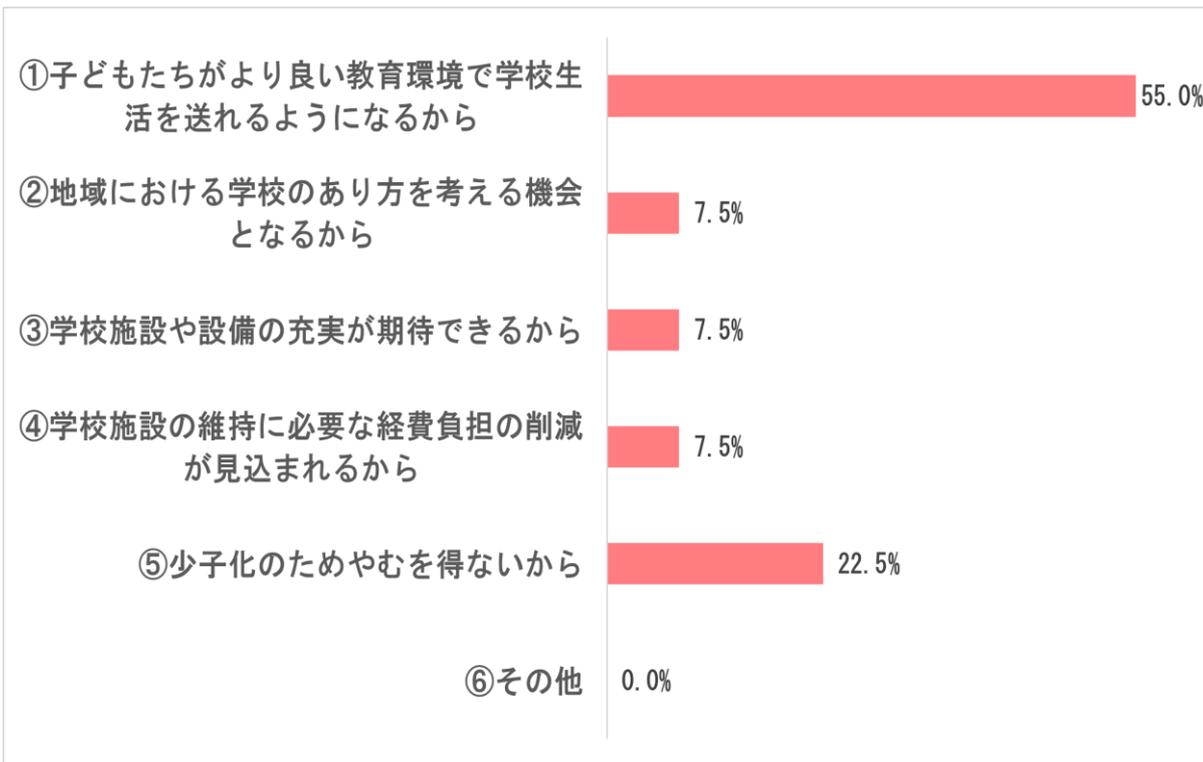
●回答結果の概要

6の質問で、「④ 進めない方がよい」又は「⑤ 進めるべきではない」を選んだ方がいなかったため、回答者はいません。

7-1の質問で「① ぜひ進めるべき」と「② 進める方がよい」と答えた方にお聞きします。その理由として最も当てはまるものを選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

「① 子どもたちがより良い教育環境で学校生活を送れるようになるから」を選んだ方が最も多いです。地域アンケート結果（地域全体）と概ね同様の傾向となっています。



7-1の質問で「④ 進めない方がよい」と「⑤ 進めるべきではない」と答えた方にお聞きします。その理由として最も当てはまるものを選択してください。(1つ)

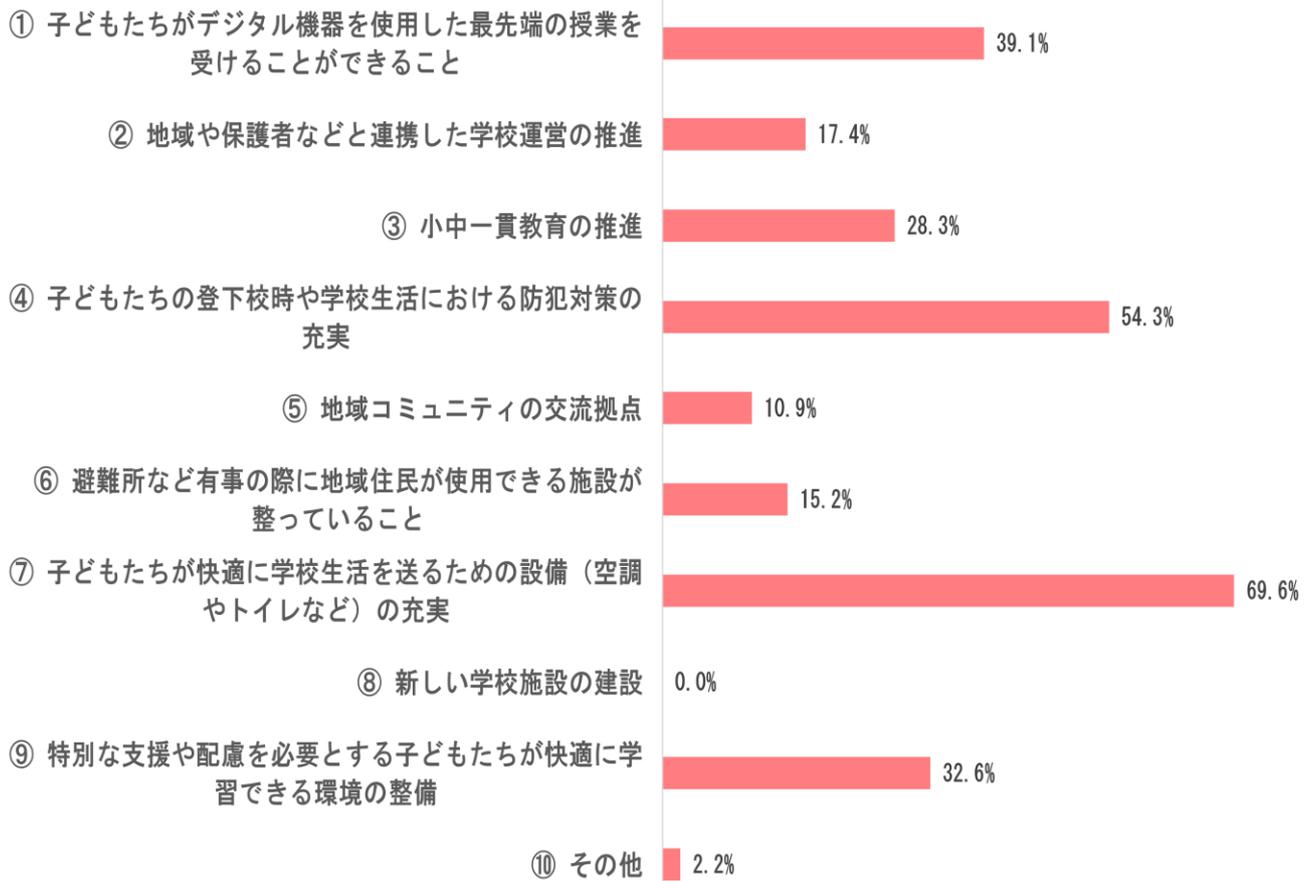
●回答結果の概要

7-1の質問で、「④ 進めない方がよい」又は「⑤ 進めるべきではない」を選んだ方がいなかったため、回答者はいません。

これからの学校教育や学校施設に期待することについて、次の項目から選択してください。(3つまで)

●回答結果の概要

「⑦ 子どもたちが快適に学校生活を送るための設備（空調やトイレなど）の充実」、「④ 子どもたちの登下校時や学校生活における防犯対策の充実」、「① 子どもたちがデジタル機器を使用した最先端の授業を受けることができること」の順に選ばれています。



「⑩ その他」の回答

◆藤山台小

・専門性の高い教師が、一人一人を大切にされたクラス経営、授業展開ができること。少人数学級、教師の多忙化の解消。

◆藤山台小 (19 件)

うち、学校教育 (9 件)、通学 (7 件)、学校設備 (0 件)、地域 (0 件)、その他 (3 件)

学校教育について

- ・IT、IT と言わないでほしい。小学校からデジタル機器を使いこなすことより、もっと、大人になるために人として学ぶ事がたくさんあるはず。
- ・アンケートとして、小学校と中学校をまとめて同じ回答を求めるのは適切でないと思います。小学校低学年には通学距離が、中学生には多様な人間関係の中での学びが最重要課題だと思います。また、単純に統廃合だけでなく現在の通学区域の見直しをしてはどうか。これだけで規模適正を図れるところもあると思います。
- ・近所の中学生の子の話を見ると部活動の選択肢が、15 年ぐらい前よりかなり減っていることに驚きました。たくさん部員がいた吹奏楽部が他校と合同と聞いた時もびっくりしました。私自身、他の市ではありますが中学校の教諭を 6 年間していましたが、各学年 9 クラスから 6 クラスあり、先生も 50 名ほどいました。部活動は数もたくさんあり、運動部も文化部もそれぞれの生徒の個性にあった部活を選ぶことができました。平成の時代でしたので先生が顧問をするのは当たり前でしたが、今は先生の数も減り事務的な仕事や授業の準備など個人にかかる負担が当時よりかなり多くなっていますので、部活動の指導も先生でというのは難しい状態だと思います。地域での指導者を見つけるのも子どもたちの活動時間とその方の時間との折り合いや、また今の時代先生でも盗撮などどんな問題がおこるかわからない中、地域の方も考えたくはないことですがそのような目的で参加するような人がいたらと考えると心配になります。もちろんほとんどの方は善意からだと思いますが、先日のような事件が名古屋の小学校であるとあらゆる可能性を考えなければいけない時代なのかなとも思えます。子どもたちがより安全かつ安心して個性を伸ばせるような教育環境が整うことを心から願っています。
- ・地域コミュニティーとの連携も必要であるが、地域住民の高齢化・定年制の延長・女性の社会進出などで「地域や保護者などと連携した学校運営」の担い手が少なくなっている。地域ボランティアも掛け持ちが多く手一杯の状態。先生の増員や先生の補佐要員を増強し、子供たちにきめの細かい接触ができるように望みます。
- ・藤山台校区は、児童数が少ない 1 小、1 中で、小 1 からの児童同士の関係性に 9 年間変化も少なく、その事からの弊害も多いと思われます。近辺との中学校の統合も考慮すべき課題と思います。
- ・自身の経験として、1 学年に最低 3 クラスはあるべきと考える。
- ・習い事をしなくても学校教育だけで十分に学べる教育。
- ・小学生から中学生にあがる際、他校との合併がないから 9 年同じメンバーになってしまうので、統合したらいいと思う。
- ・一クラスの子供の人数を減らし、教員の目が届くようにしてほしい。教員の負担軽減のためにも教員の数を増やして子供も先生も安全で楽しい学校生活にしてほしい。

◆藤山台小

通学について

- ・クラス替えが可能なように各学年2学級ずつ必要との方針には賛成ですが、通学の所要時間や安全面といった問題が解決してこそだと考えます。全てを統合することに固執せず、地理的条件によっては小規模校も残し、小規模であることをメリットとするような方策があってもいいのではないかと思います。
- ・クラス替えが無い事は、子どもにとって閉塞感のストレスは相当のものがあると実感していた経験から配置を見直す事は必要。通学距離はスクールバスで対応すれば可。
- ・学区を再編するにあたりオンライン授業や通学バスの導入検討をすれば複数の学区を統合する事が可能かと思われれます。少子化が加速する中、小規模な統合するよりも早い段階で大規模な統合を検討した方が、将来的な地域の連携はしやすくなると思います。(高蔵寺ニュータウン辺りは急務かと思われれます)。
- ・学校を統合することは良いと思いますが、通学距離が長くなると子どもたちの安全面が心配になります。冬は早く暗くなりますし、夏は暑い中熱中症のリスクもあります。こういった事はどうするべきかも考えなくてはいけないと思います。
- ・学校規模が拡大すると通学が困難になる子供も出てくる。それならば通学バスや安全の確保など子供達が安全に通学出来る手段の整備や両親共働き等による。学童等の充実、そこまでの移動手段の確保が必要と考えます。
- ・通学方法(スクールバスなど)整備し、ニュータウン全体で中高まで含めて考えてもよいのではないのでしょうか。よい環境が整い、世間に認知されれば、住民も増え、街の発展にもつながるのではないのでしょうか。
- ・難しい問題であるが統合によって通学距離が長くなるのが懸念される。

その他

- ・5年後、10年後少子化で1学年1クラスになると9年間同じになる事がわかると、若い人達に藤山台が敬遠されるのではないかと心配しています。
- ・一小一中の藤山台学区は人間関係のトレーニングのためにも見直す必要があると思う。
- ・藤山台小学校地区と岩成台西小学校を統合、もしくは藤山台小学校と藤山台中学校を小中一貫校にしてほしい。後者の提案についてですが、藤山台小学校の未利用の教室を使って、藤山台中学校の生徒が学習できるようにしてほしいです。実質、中学校は廃校して、校舎を利活用し、藤山台小学校の方に行くようになるようにしてほしいです。私は前者の提案よりも後者の提案を優先して検討していただきたいと考えております。以上、よろしく願いいたします。

アンケートの結果は以上です。
アンケートの結果をもとに、より良い教育環境の実現に向け、保護者や
地域、関係者の皆様とともに議論を積み重ねていきたいと考えています。
今後ともご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



問い合わせ先

春日井市教育委員会 学校教育課

電話番号：0568-85-6149 FAX：0568-85-0991

Eメール：gakko@city.kasugai.lg.jp